



### 竹の子川柳会

よるごはんにこにこマークぼくわらう  
 小二 優  
 とけいはねまるいやくだつどうぐだよ  
 小二 隆 希  
 なんてだろほしがひかるよすてきだな  
 小二 心 香  
 ゲームしてわらいごえでるたのしいな  
 小三 勇 斗  
 友だちとにらめっこしたわらったよ  
 小三 みるく  
 友だちのえがおキラキラ光ってる  
 小四 心 春  
 寝たときに光る空想夢心地  
 小五 太 清  
 丸い月想ぞうこえる美しさ  
 小五 翔 太  
 東北に光をそえるボランテア  
 中二 清 也  
 大げんか丸くおさめるごめんなさい  
 中三 海 斗  
 赤緑イルミネーション光る夜  
 中三 海 士  
 たくさんさんの笑い声する昼休み  
 高一 ななみ  
 年とると心が丸くなるのかな  
 高三 瑠 依  
 笑ったら嫌な気持ちも軽くなる  
 高三 ちひろ

### ひよし川柳会

誤算ですすぎてまあるい輪が歪む  
 若宮 賢敬  
 九回裏あの一球が大誤算  
 川添 忠昭  
 横道を愛の誤算が駈けて行く  
 米子 達雄  
 いっちょらいだった着物もゴミ袋  
 菅原 由紀  
 しつけのままタンスで眠る着物たち  
 水野すみこ  
 どこに着くコロナに五輪株価まで  
 熊本 忠真  
 一件落着引き継ぎも済み旨い酒  
 中城 英雄  
 お祝いの書留が着くサクラサク  
 山本 節  
 美容費にかける予算はウチにない  
 伊勢本 恵  
 やはりいい美空ひばりの歌に酔い  
 大崎 五葉  
 ほんとうの美人心も澄んでいる  
 兵頭チヨカ  
 結論は急がぬチャンス巡るかも  
 山本 雅之  
 あら縄で結んだ母の荷が届く  
 渡辺 光男  
 ごみを被った粟三年目実を結ぶ  
 木村 貞子

### 鬼北の足跡をたどる



#### 解説・等妙寺縁起と鬼北の「おに」伝説①

1320年に開山された等妙寺は、2020年の今年700年の節目を迎えました。本題に先立ち、鬼北町が誇る名刹、国史跡・等妙寺旧境内について概説します。等妙寺旧境内は鬼北町西部にそびえる鬼ヶ城連山の一つ、郭公岳南部中腹に立地する中世山岳寺院跡です。大規模かつ高度な造成により、谷部に面した緩斜面を巧みに切り開いており、二十箇所余りの平坦部が雛壇状に連続展開する景観は圧巻です。

この遺跡が鬼北の地に創建された目的や構造、活動を端的に述べるのは中世寺院の奥深さゆえ難解ですが、一言で言い表すならば「京都法勝寺流天台律宗教団南国唯一の僧侶育成道場」といえるでしょう。鎌倉時代末から室町時代初め頃にかけて「天台仏教の戒律復興」つまり、荒廃していた天台宗の改革を目的に、京都法勝寺流律宗教団に所属し、各地に四カ所創建された「四箇戒場（戒壇）」の一つであり、僧らの戒律修行の拠点でした。伊予国最大の荘園である宇和荘を中心に、等妙寺の膝下地ともいべき六奉行寺院をはじめとして多くの末寺を伝えるなど、中世を通じて隆盛を極めたとされています。

等妙寺が創建され、存続した中世という時代は流行病や気候変動、大地震などの自然災害、飢饉、戦と非常に生きづらい時代であったと言われています。現代社会と通ずる部分がありますが、史実は私たちの想像を凌駕するものだったと思われれます。こうした大変な時代背景だからこそ、中世等妙寺は、鬼北に生きた人々の信仰を広く集め、中世を通じて繁栄したのでしょう。



▲等妙寺旧境内、智光院跡から近永の町を望む